

亀岡スタディの追跡郵送調査について

亀岡スタディは、高齢者の健康寿命延伸に影響を及ぼす様々な要因を解明するために、亀岡市の全高齢者を対象に亀岡市と連携して続けている追跡研究です。研究を開始したのは平成 23 年 7 月です。その後、平成 30 年 6 月には、亀岡市と京都先端科学大学、医薬基盤・健康・栄養研究所が、亀岡市の住民の幸福度の向上や介護予防施策の実施等に寄与することを目的に、連携協力を推進する包括協定（三者協定）を締結しました。現在は、亀岡スタディもこの三者協定の枠組みの中で実施されています。

追跡郵送調査は、亀岡市が実施した平成 23 年度日常生活圏域ニーズ調査、または平成 25 年度二次予防事業対象者把握事業調査への回答者の皆様にお願いしました。調査票を受け取った方におかれましては、研究の主旨・方法についてご理解いただき、ぜひとも追跡の郵送調査へのご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するご質問は下記（7）の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

《研究課題名》

亀岡市在住高齢者を対象とした亀岡スタディの追跡郵送調査

《研究対象者》

亀岡市が実施した「平成 23 年度日常生活圏域ニーズ調査」または「平成 25 年度二次予防事業対象者把握事業調査」に回答された方

《研究期間》許可日～2030 年 3 月 31 日

《研究代表者》京都先端科学大学・アクティブヘルス支援機構 機構長 藤田 裕之

《研究実施機関》京都先端科学大学・アクティブヘルス支援機構（研究責任者：藤田裕之、機構長）

東北大学・医工学研究科（研究責任者：山田陽介、教授）

医薬基盤・健康・栄養研究所 臨床栄養研究センター（研究責任者：南里妃名子、室長）

《共同研究機関》滋賀大学 データサイエンス学部（研究責任者：伊達平和、准教授）

びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部（研究責任者：渡邊裕也、准教授）

立命館大学 マネジメント学部（研究責任者：山口美輪、准教授）

《意義》

統計局の人口推計（令和 6 年 10 月 1 日）および厚生労働省介護保険事業状況報告（令和 6 年 10 月分）から推計すると、要介護認定者は 75－79 歳が 11.4%、80－84 歳が 25.8%、85－89 歳が 48.0%、90 歳以上が 73.3%と加齢により指数関数的に割合が高くなっています。一方で日常生活が制限されことなく自立した生活を過ごし、男女ともに 70 歳代である健康寿命の壁、80 歳代である平均寿命の壁を乗り越える高齢者も一定数存在します。このような壁を越えられる人がどのような人なのか、越えられ

る人と越えられない人にどのような違いがあるか明らかにすることは、単に長生きをするだけでなく可能な限り自立し豊かな人生を過ごすことで個人が享受するメリットだけでなく、高齢者を社会保障制度で間接的に支える世代にとっても重要な視点です。

《目的》

本研究では、時間経過に伴う高齢者の心身や生活における様々な変化と健康寿命や平均寿命などとの関連を明らかにしたいと考え、亀岡市が平成 23 年と平成 25 年の調査に参加した方々に追跡郵送調査を実施することを目的とします。

（２）研究の方法について

《研究の内容》

追跡郵送調査では、平成 23 年度日常生活圏域ニーズ調査、平成 25 年度二次予防事業対象者把握事業およびこれらを補完する調査において調べられた項目を再調査します。そして、皆さまからの回答をデータ化し、匿名化した後に、京都先端科学大学で保管している亀岡スタディデータベースと統合します。統合された匿名化亀岡スタディデータベースを用いて、健康寿命に及ぼす高齢者における心身の状況および生活状況などについて、時間的経過の中で解析することになります。

《調査項目の詳細》

A. 平成 23 年度日常生活圏域ニーズ調査、平成 25 年度二次予防事業対象者把握事業

基本属性、主観的健康感、主観的経済観、医療歴、教育歴、社会参加、基本チェックリスト、転倒リスク評価、Barthel Index、老研式活動能力指標、Cognitive Performance Scale（認知機能障害程度評価）、国際標準化身体活動質問票 IPAQ、Life Space Assessment（移動機能と生活範囲の評価）、その他生活の状況に関する質問項目

B. 上記Aを補完する追加調査

ソーシャルネットワーク、ソーシャルサポート、日常生活動作（ADL）、環境尺度日本語版（IPAQ-E）、生活満足度、高齢期うつ尺度（GDS15）、精神的健康度（WHO-5）、睡眠（ピッツバーグ睡眠質問票：PSQI）、口腔関連 QOL（GOHAI）、SCREEN II（Seniors in the Community: Risk evaluation for eating and nutrition, Version II）、食物摂取頻度調査（FFQ）、簡易栄養状態評価、その他生活の状況に関する質問項目

《利用を開始する予定日》学長許可日

《本研究に用いた情報の二次利用について》

本研究において、京都先端科学大学以外の研究実施機関および共同研究機関でデータを解析する場合は、匿名化されたデータを利用します。研究実施機関および共同研究機関で用いた情報を他の研究機関等に提供することはありません。本研究に用いた情報は本研究の終了または研究成果の発表のいずれか遅い方から 5 年間保管された後削除されます。

（３）個人情報等の取扱いについて

亀岡スタディの情報は、研究倫理審査委員会による研究計画の承認を経て利用します。追跡郵送調査では、亀岡市が氏名など、個人が特定できる個人情報を、個人が特定できない数値（ID）に置き換えた匿名化データセットを作成し、この匿名化データセットを京都先端科学大学と共有します。京都先端科学大学において蓄積されている過去の亀岡スタディデータセットもIDで匿名化されています。今回のデータと過去のデータとの統合はIDをキー変数に実施します。一方、亀岡市は、個人情報とIDの対応表を作成し、これを京都先端科学大学と共有します。対応表は亀岡市、京都先端科学大学とも研究終了時まで厳重に保管されます。本研究への同意を撤回された場合は、対応表を用いて同意撤回の申請のあった方のデータを削除します。全ての解析で用いるデータは匿名化されたデータです。

（４）研究成果の公表について

新しい知見や独創的な成果が得られた場合は学会発表等で広く公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

（５）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方が希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（７）の問い合わせ先へご連絡ください。

（６）利用の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の方の求めに応じて、対象者の方の試料・情報（データ）を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（７）にご連絡ください。

（７）本研究に関する問い合わせ先

お問い合わせいただきましたら研究責任者（機構長：藤田裕之）等が対応いたします。

研究全般に関する問い合わせ先

担当：京都先端科学大学・アクティブヘルス支援機構

木村みさか

住所：〒621-0022 亀岡市曾我部町南条大谷 1-1

kameoka.kuas@gmail.com

09042996491（専用電話が必要）